

## 実績報告書

令和 5年 3月31日

団体名 綾部市災害ボランティアセンター

事業の目的	綾部市地域防災計画に規定する「災害ボランティアセンター」を常設し、平常時から研修や訓練などを通じ参画団体の連携や活動体制の整備を進め、被災者の早期生活復旧を支援することを目的とする。
事業の名称	綾部市災害ボランティアセンター事業
事業費 (市補助金)	<u>300,059円</u> (100,000円)
補助金の使途	綾部市災害ボランティアセンターが主催する、研修会等の経費及び災害時の活動に必要な資機材の整備
事業実施期日	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日
事業実施場所	綾部市内一円
事業の概要 (事業の実施方法、内容について記入してください。)	<p>1) 災害ボランティア活動の情報交換及び調査・研究活動 ・綾部市災害ボランティアセンター運営委員会の開催 (5/30、7/29、11/29)</p> <p>2) 研修会や講演会の開催 ・ミニ講座(5/30:綾部市災害ボランティアセンターの紹介、7/29:マッチングシミュレーションゲームの紹介、11/29:個別避難計画について) ・運用訓練(9/4:綾部市総合防災訓練に参加し、災害ボランティアセンターマッチングシミュレーションゲームによる訓練)</p> <p>3) 市外災害ボランティア組織との連携及び協力 ・京都府災害ボランティアセンター、災害時連携NPO等ネットワークへの加盟</p> <p>4) 資機材の整備 ヘルメット15個、のぼり・横断幕製作、工具セット、防災すろく他</p>
補助金の効果(成果) (計画書では期待できる効果を、実績書では得られた成果を記入してください。)	<p>1. 新型コロナウイルスによる影響で、計画通りとはいかなかったものの、3回の運営委員会を行うことで、団体・機関間の連携が継続的に進んだ。</p> <p>2. 綾部市総合防災訓練に参加して行った運用訓練では、災害ボランティアセンターの中心的な機能であるマッチングの場</p>

	<p>面をカードゲームで疑似体験し、運営スタッフの意識づけや対応力向上に寄与できた。</p> <p>3. 災害支援にかかる資機材として、ヘルメットやのぼり・横断幕などを備えることができた。</p> <p>4. 総合防災訓練では、吉美小学校の生徒向けに動画視聴やクイズなどで災害に対する学びを提供し、災害を風化させない取組に協力できた。</p>
--	---

収 支 計 算 書

令和5年3月31日

団体名 綾部市災害ボランティアセンター

(単位 円)

収入の部	区 分	予算額	収入済額	明 細
	補助金	100,000	100,000	綾部市
	補助金	100,000	200,000	綾部市社協 100,000 円、 京都府災害ボラセン 100,000 円
	自主財源	0	6,595	
	合 計	200,000	306,595	
支出の部	区 分	予算額	支出済額	明 細
	謝 金	10,000	0	
	旅 費	15,000	12,980	災害 VC マネジメント研 修
	賃 借 料	20,000	6,300	会場借上げ
	消耗品費	20,000	4,290	飲料
	印 刷 費	20,000	33,413	横断幕2、コピー代
	備 品 費	100,000	208,726	ヘルメット、のぼり製 作、工具セット、ipad、 防災スゴロク他
	役 務 費	15,000	34,350	通信運搬費 29,890 円 ドローン登録料 900 円 電波利用料 2,000 円 印鑑証明 450 円 保険料 1,110 円
	合 計	200,000	300,059	
差 引	0	6,536	次年度へ繰越	